

教育大綱の重点方針の実現に向けた取組状況 （9月末現在の KPI 達成率）

重点方針 1

新たな時代（Society5.0）を切り拓き、国際社会で活躍する人材の育成に寄与する新しい学校教育の推進

- 教育連携事業として、市内2大学と小中学生の協働による探究型学習を実施しました。
(100%)
- 体験活動や問題解決的な学習を取り入れ、地域や学校の特色に応じた課題に取り組みました。(0%)
- ICTの効果的な活用を研究し、確かな学力の定着を図るPDCAサイクルの確立に取り組みました。(一)
- ICT教育専用ウェブサイトやソフトウェア、学習支援システムを活用しました。
(100%)
- 「Pepper」を活用し、プログラミング教育を実施しました。(50%)
- ICT（ウェブ会議システムを）を活用して、児童生徒の学びを保障する遠隔授業を実施しました。(0%)
- 授業支援ソフトや導入機器に関する研修会を開催し、教職員のICTスキルの向上を図りました。(0%)
- ICT支援員5名を配備し、各小中学校におけるICT活用授業の支援を行いました。
(0%)
- 指導者用デジタル教科書（小学校/算数・理科・英語・社会、中学校/数学・英語・地理・歴史）を導入しました。(43%)
- ICT活用授業の充実を図るため、定期的な研修・授業事例発表会（学校間研修）を実施しました。(0%)
- 語学指導外国青年招致事業 ALTの活用により英語教育の充実を図りました。(0%)
- 国際人材育成事業（オーストラリア派遣）はコロナ感染状況により中止しました。(0%)
- ALTによる、長期休業中の英会話教室を実施しました。(100%)
- ALT研修会を実施し、指導力の向上を図りました。(100%)
- 学校体育や部活動、課外活動の充実により、たくましい心と体づくりに取り組みました。(50%)
- 本物の文化芸術に触れ、豊かな心を育むため、坊っちゃん劇場を観覧しました。(100%)

重点方針2

誰一人取り残すことのない学びの実現

- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、ハートなんでも相談員を配置し、教育相談体制の充実を図りました。(100%)
- 学習支援を行い、学力水準の向上、よりよい教育環境を整えるために、学習アシスタントを配置しました。(100%)
- 支援が必要な児童生徒に対応できるよう、学校生活支援員の配置基準を見直し、増員しました。(61%)
- 日本語指導の必要な児童生徒への語学補助等を行う外国人語学補助員を配置するとともに、より円滑なコミュニケーションのために翻訳機を配備しました。(88%)
- 小中学校各2校をモデル校に指定し、不登校対策に特化した支援員を配置するとともに、ICTを活用したオンライン授業の配信を実施しました。(100%)
- 今治市適応指導教室「コスモスの家」を中心に、不登校児童生徒の学校復帰を目指した取組を行いました。(100%)
- モデル校に校内サポートルームを設置し、不登校又はその傾向にある生徒への支援を推進しました。(77%)
- 教員業務の支援を行うスクール・サポート・スタッフ及び事務補助員を配置し、教員の負担を軽減し、児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整えました。(89%)

重点方針3

安全安心と学びを充実させる教育環境の整備

- 大型提示装置（電子黒板）を特別支援教室と音楽室に142台整備しました。（78%）
- 乃万小学校の校舎大規模改修、長寿命化対策（33%）、照明器具のLED化（9%）に着手しました。
- 特別教室（理科室・音楽室）の空調設備設置に着手しました。（0%）
- トイレの洋式化工事（第1段階・水平移動可能な各階に1箇所以上）を実施しました。（84%）
- 施設のバリアフリー化（エレベーター・スロープ・バリアフリートイレ）に着手しました。（0%）
- 「学校の新しい生活様式」に基づいた基本的な感染対策を実施し、状況に応じて学習や活動の内容を工夫しながら、可能な限り教育活動を継続しました。（100%）
- 教職員の事務処理の平準化・効率化を図るために導入した『校務支援システム』の運用を支援しました。（一）
- 愛媛県独自のCBTシステム「えひめICT学習支援システム(EILS)」等を活用し、授業の充実・効率化を図りました。（100%）
- 教科等主任会や研究グループ等を研究指定し、各教科・各分野での研究を推進し、教員の専門知識・能力の向上を図りました。（小学校76%、中学校79%）
- 第2次今治市学校適正配置基本方針の策定に向けて、準備を進めました。（0%）
- 全小中学校に、小中連携を推進するための小中合同委員会を設置しました。（80%）
- 地域の特性に応じた防災教育を展開し、学校安全に係る取組を地域一体で進める体制を構築しました。（80%）
- 学校安全に係る取組を地域一体となって進める通学路安全対策推進モデル地域研究事業を実施しました。（80%）
- 長寿命化を図るため、公民館を改修しました。（33%）

重点方針4

「i.i.imabari！」教育 version (郷育^{きょういく}) の推進

- プロの調理人やシェフ、地域人が考案した「日本一おいしい給食」メニューの提供準備をしています。(0%)
- 老朽化した調理場施設及び調理場機器を順次、改修更新しました。(施設改修 20% 機器更新 33%)
- 地域の産業や企業に関する理解を深め、地元で働く魅力を感じる子どもたちを育成するため、中学校で5日間の職場体験学習を実施しました。(69%)
- 探究的な見方・考え方を働かせ課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成するふるさと学習・地域学習・キャリア学習を実施しました。(67%)
- 小中学校すべてに学校運営協議会が設置されました。(100%)
- コミュニティスクールの研究指定校(6校)を設置し、組織的・計画的に研究開発を推進しました。(100%)
- 学校の教育活動(学習指導・環境整備・学校生活)を支援する学校支援ボランティアを配置しました。(60%)
- 伊予国府跡探索のため、試掘・発掘調査を実施しました。(0%)
- 幸賀屋敷遺跡、証明寺跡、宮窪城跡などの村上海賊関連遺跡の試掘・発掘調査を行いました。(0%)
- 国指定史跡 能島城跡の保存修理工事を行いました。(18%)
- 日本遺産村上海賊の普及啓発のため、市内小学4年生全生徒への出前講座(39%)、ショッピングモール、FC今治ホームゲーム、日本遺産サミット等へのPRブース出展(193%)、小中学生対象構成文化財日帰りツアー(100%)を実施しました。

重点方針5

人生100年時代を見据えた、生涯学び活躍できる環境の整備

- 公民館及び公民館類似施設にWi-Fi設備を設置し、利便性の向上を図りました。(17%)
- SNS等を活用し、積極的な地域活動の情報発信を行う準備中です。(0%)
- 放課後子ども教室において、地元住民との交流による子どもたちの健全育成を推進しました。(35%)
- 子ども探検隊事業として、市内小学生を対象とした自然観察等の体験活動を行いました。(50%)
- 子どもの居場所づくりの開設を支援しています。(0%)
- 地域社会での女性の活躍を支援する準備に取り組んでいます。(0%)
- すべての人々が立場や世代を超えて交流でき、信頼しあえる持続可能な社会の実現に向けて、地域の女性達の活動や学習機会を支援しました。(31%)
- 電子図書館を推進しました。(26%)
- 図書館サービスの地域格差解消のため、島しょ部の貸出拠点設置に向け検討しています。(0%)
- 市展、県展今治展(49%)、文化芸術祭、総合芸能祭、各文化協会(0%)による文化祭等を開催し、市民による文化芸術活動の交流・発表の場及び鑑賞の機会を提供しました。
- オンラインミュージアムとして活用するデジタルアーカイブの構築に取り組みました。(0%)
- 村上海賊ミュージアムでキャッシュレス対応を先行実施しました(63%)。
- しまなみアートミュージアムオンラインツアー(46%)、村上海賊VR(3%)を制作し、文化施設等の発信力を強化しました。
- 各種スポーツイベントの開催(33%)、スポーツ少年団等による各種競技大会(78%)やスポーツ活動を支援しました。
- FC今治と連携し、プロスポーツの観戦を通じてスポーツに接する機会を提供しました(59%)。
- 開催経費の一部を補助することにより、全国大会等を誘致しました(11%)。
- 宿泊経費の一部を補助する新たな制度を設け、スポーツ合宿を誘致しました(33%)。